

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



大野まこと県議会リポート

発 行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電 話 043 (227) 7411

消防救急無線もデジタル化へ

地域の声を反映、県政を改革します ●印旛郡特集● 12月県議会一般質問



12月県議会で一般質問する大野眞県議

協議会では、現在適切な人員体制や勤務体制などの管理・運営方式についての検討を始めており、この検討結果を加味しながら、今後行われる基本設計において、適切な設備規模やシステムの仕様及び事業費が決定し、手戻りのないようにしたいと考えています。

大野議員 平成二十八年五月までに移行しなければならない消防救急無線のデジタル化と共同指令センタ

県議一期目ながら、議会運営委員を務めるなど豊富な行政経験が高く評価されている印旛郡議は、十二月県議会の一般質問に早くも四度目の登壇をしました。一期生議員としては異例の登壇回数です。大野県議は、消防無線のデジタル化と共同指令センターの管理・運営計画について質問したほか、施設整備に対する市町村へ県独自の財政支援などを求めました。他の質疑と合わせて1、2面で特集します。

この計画では、県内を二つのブロックに分けて整備される共同指令センターの管

理・運営方法等を今後の検討事項としているが、事前に、少なくとも、整備と同様に検討しなければ、手戻りとなるのではないか。

大野議員 電波法の関係審査基準で、消防救急無線でもデジタル方式に移行しなければならないという理由で、本年十一月、県内すべての消防長を委員とする共同指令センター整備基本計画が策定されました。

この計画では、指令台、地図検索表示装置、車両運用表示盤など、指令センターに通常求められる基本的な設備のほか、携帯電話等からでされるシステムの導入など、センターの持つべき機能を定めるとともに、概ねの設備規模と事業費が示されたところです。

大野議員 共同指令センターの整備に市町村は多大な経費負担を強いられることがあるが、財源の支援についてどう考えているのか。

総務部長 県としては、概ねの事業費が約六十五億円と多額であることから、整備に当たっては国の支援措置を活用していくことを基本としています。現行の国債の適用があり、起債充當率は90%、その元利償還金の二分の一が交付税算入されることになっています。

大野議員 消防は、基本的には市町村の本来的な業務ですが、県としても支援

施設整備による共同指令センター整備計画

共同指令センター整備計画

平成21年1月31日(土曜日) 第 6 号

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民党 → 議員リスト → 県議会議員 → 印旛郡

県政や印旛郡のご相談、ご意見をお聞かせてください

大野まこと

議

事務所

TEL0476-95-1391
FAX0476-95-6064

HPもご覧下さい。…

検索

ちば自民党

→

議員リスト

→

県議会議員

→

印旛郡

経験と実績で 県政へ一直線 **大野まこと** 県議

救急医療体制の早急な整備求め

●印旛郡特集● 12月県議会一般質問

搬送体制を事前に調整へ

大野議員 全国的な医師不足の影響で、救急医療体制の維持が困難になっている地域もあり、救急の受け入れ病院が決まりずに、救急搬送時間が長時間化しています。

県の救急搬送実態調査では、病院到着まで一時間以上もかかったものが、7.5%もあったことが明らかになっています。県民が安心して生活するために、早急な対策が必要ですが、県

は現在、救急医療体制の整備に向けて、どのように取り組んでいるのか。

堂本知事 本県では、医師不足を原因として、自治体病院の休止のほか、一部診療科が休止されたり廃止されたりしています。医療体制全体の弱体化が進み、これが一番問題ですが、搬送先の確保に困難が生じるといった救急医療体制は大変厳しい状況にあります。そのため、今年度、二機

の救急救命センターである君津中央病院に配置し、広域救急搬送体制の強化を図ることにしました。ドクターヘリだと、まず車の渋滞に巻き込まれませんし、コインデイネーターが連絡すれば、その先の病院で、ドクターが乗っていますから、そのドクターからの連絡で手術が必要なら手術を準備を整える、どういう血液型かといった連絡をヘリから

要望 救急医療体制の整備について、全般的な体制の再構築に努めること。また、広域救急体制、救急コ-ディネ

入事業を実施します。

なお、今年度実施してい

る救急医療体制に関する実

態調査の結果分析を踏まえ

て、今後、地域ごとに課題

の整理と対応策の検討を進

めて、全県的な救急体制を

早期に再構築するよう努め

ています。



常任委員会で銚子大橋を視察する大野県議

精神科医療センターとも連携

大野議員 救急医療センターには、身体的疾患を持つ患者が運ばれてくる一方、救急医療センターには、精神的疾患を持つ患者が運び込まれます。このため、精神科医療センターとの連携も含めて検討すべきではないか。

今回の「龍角寺古墳群」は、「房総のむら」では、堀割もできており、龍角寺古墳群と合わせ、成田を中心とした国際都市づくりにとって重要な機能を担うようになると思います。

岩屋古墳の国の史跡指定は有意義であり、これまで

の江戸時代だけでなく古代まで視野に入れた歴史的に幅広い活用が可能になると

堂本知事

龍角寺古墳群

の

一ターキングの導入を図っています。いくことで、私は非常に期待しています。ソフト面からコーディネートするという事業が進めば、かなり救急体制になる

と思います。

のではないかと思います。

救急医療体制の整備は今、待たなしの状況であると

思いますので、早期の体制に努めていただきたい

と思います。

龍角寺古墳群の国史跡への指定を契機に「龍角寺」を総合的に扱った

展覧会や見学

会を開催する

など、龍角寺古墳周辺を舞台として郷土の文化財を県民が知り、誇りと見えるような取り組みを行うよう強く要望します。

龍角寺古墳群の文化財活用を

大野議員

龍角寺古墳群

の

指

定

を

開

催

す。